

令和6年度 学校関係者評価報告書

学) 曙学園 あけぼの幼稚園

1. 本園の教育目標

◎感謝する子ども（自分が生かされていることに気づき、いのちを大切にす・お互いを認め合う・共感する・譲ったり、分かち合ったりする・自尊心を育む・ものを大切に扱う・ルール、約束を守る・やさし言葉遣いや態度をとる。）

◎自分で考え、工夫しようとする子ども

◎健やかな心身の子ども

を育てることを目標とする。

2. 本年度重点的に取り組む目標・計画

課題	具体的な取り組み方法
資質向上のための研修	研修後の研修記録を全職員で共通理解し、課題を明らかにし、保育に活かす。 学びたい分野の講師を招いて、園内研修を実施する。
指導援助とかがわり	職員全員参加の研修会を設け、教育課程、指導計画の共通理解を図り、場面での適切な援助のあり方を担任と共通理解し子どもに関わる。

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

※詳しい評価項目は別紙自己点検・自己評価表参照

評価項目	評価	取り組み状況・結果
園の教育理念・目標・方針の理解	A	職員全員で園の教育理念、目標、方針について共通理解している。
教育課程と指導計画の作成	A	年度の初めに職員全員で、本園の教育課程の中身について共通理解の場を設け、確認し、各学年の指導計画に反映されている。
環境構成	A	子ども一人ひとりの興味関心に応じて教材を用意したり、幼児側の発信の遊びを保育に取り入れたり、そこから活動を膨らませたりするような環境づくりができています。
子ども理解	A	一人一人の発達、特性を観察し理解している。
指導、援助と関わり	A	発達、特性に応じて、一人一人にきめ細やかに関わっている。
特に配慮が必要な幼児への支援	A	支援を要する子どもの個別指導計画を作成し、必要とする支援が出来ている。
保育内容	A	各領域が偏りなく、子どもの興味関心を育んだり、友達との関わりの中で、お互いを思いやる気持ちを育めるような保育内容になっている。

健康や安全への配慮	A	園内を常に衛生に保ち、遊具などの安全点検を定期的に行い、危険な個所などは改修している。
幼児への人権の配慮	A	子どもが傷つくような言葉や態度をとらないように気を付けている。
教師間の連携	B	子どもについては教師間で共通理解し関わるようにしているが、事務連絡について伝え損なうことがあり、必ずボードや連絡ノートに記載するようにしている。
資質向上のための研修	B	担任教諭は多くの園外研修に参加し、資質向上に努めているが、時間に制限のある職員はなかなか園外の研修に参加できていないのが現状である。
保護者への対応と家庭支援	A	日々の連絡ノートのやり取りや、懇談会、保育参観などを通して、また、気になることなど、すぐに対応する様に心がけている。
地域との関わり	A	地域の農家の方に、田植え前の籾から苗になるまでの様子を見せてもらったり、野菜の土づくりから、育てるまでのノウハウを教えてもらったりして、地域の方との交流ができています。

4. 幼稚園評価の具体的な目標の総合的な評価結果

●今年度の取り組む課題について

1 資質向上のための研修について

「研修後の研修記録を全職員で共通理解し、課題を明らかにし、保育に活かす。学びたい分野の講師を招いて、園内研修を実施する。」としていたが、今年度も講師を招いて園内研修を実施するということができなかった。リモートなどを活用してできそうであれば、実施を検討したい。

2 指導援助と関わりについて

職員全員参加の研修会を設けて、教育課程、指導計画の共通理解を図ることができた。保育のねらいについて補助の職員と共通理解し、ねらいに応じた関わり方、環境構成の援助が出来た。また、今年度は、地域の農家の方々と良い交流ができ、田植え前の苗の作り方から、稲刈りまで、直接実物やその成長過程を見たり、触ったりすることができたり、また、別の農家の方には、野菜作りの土づくりや、野菜の育て方、水やりのタイミングなど、細かく教えていただき、子どもたちもとても興味を持って年間を通して季節の野菜の成長を楽しむことができていた。本当にありがたいことです。

●評価項目について

1 教師間の連携について

事務連絡について、報告漏れ、確認ミスなどがあったため、再発防止のための手段として、必ずダブルチェックを行い、報告漏れを防ぐためには必ず口頭とともにボードや連絡ノートに用件を必ず記入するようにすることを来年度も引き続き取り組む

2 資質向上のための研修について

講師を招いての園内研修が今年度もできなかった。時間に制約のある職員もいるため、全員参加の日程の調整がなかなかうまくいかないため、来年度はなんとか工夫して園内研修が出来るようにしたい。

5. 今後取り組む課題

	課題	具体的な取り組み方法
1	教師間の連携	ダブルチェック、ボード、連絡ノートへの用件記入により、確認ミス、報告漏れを防ぐ。
2	資質向上のための研修	リモートなどを活用して、講師を招いての園内研修を実施する。

6. 学校関係者評価委員会の評価

幼稚園の豊かな自然環境をいかして季節の植物の観察や生き物などに興味を持っていていいと思います。野菜の栽培も興味を持って関わっており、いろんな質問が出て良いと思いました。

園児一人一人親しみのあるあいさつが自然と出来て、いつも伸び伸びと活動している姿に嬉しい。園の先生方の教育だなと感じています。自然に囲まれて、運動場を走っている姿も嬉しいです。これも園長先生の教育だと感じてます。

園舎の周りが田んぼに囲まれており、お米に興味を持ってもらいたく苗の作り方を園児に見てもらいお米になるまでを観察してもらっています。私たちが園児との関わりを楽しみにしています。

子どもたちは明るく元気で、させられている感がありません。

元気いっぱい、あいさつもみんなでき、礼儀正しく育てて頂いています。先生のことが大好きで、幼稚園に行くのが楽しいようです。

子どもたちは園が楽しい、毎日通いたいという声が多く、保護者も先生方にささいなこと等すぐに相談でき、寄り添ってくれ安心して通わせています。

学校関係者評価委員
学校関係者評価委員
学校関係者評価委員
学校関係者評価委員
学校関係者評価委員
学校関係者評価委員

委員会実施日 令和 7年 2月 28 日